

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	宇宙環境特論		
英文授業科目名	Selected Topics in Space Environments		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-情報通信工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	情報通信工学専攻		
担当教官名	田口 聡、柳澤 正久		
居室	西2-625(田口)、総合研究棟1026(柳澤)		

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
通信の舞台が宇宙空間へと加速度的な広がりを見せていることを踏まえ、宇宙環境の実際の側面と理論的側面を理解する。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
力学および電磁気学

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>

<b>【教科書等】</b>
使用しない。参考書としては、A. Brekke 著，奥澤隆志，田口聡 訳：超高層大気物理学

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>(a) 内容 まず，人工衛星などの宇宙構造物に荷電粒子や微小天体が高速で衝突することによって生じる工学的影響について説明する．次に，それらの衝突を引き起こしている太陽地球間の宇宙の電磁気学および力学現象の物理について，最新のトピックスを含め解説する．</p> <p>(b) 進め方 適宜プリントを用いながら進める．</p> <p>(c) 授業時間外の学習</p>

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

毎回，疑問が残らない程度に復習をすること．レポート課題の際には，上記の参考書を用いて対応する部分の理解を深める必要がある．

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

講義と密接に関わる内容の課題レポート3回に基づいて行う．  
3回すべてにおいて正しい解答に到達できることが合格のための最低基準である．  
正しい解答に到達できていないレポートについては，ヒントを与えて返却する．  
それをもとに正しい解答に到達できれば問題はない．

### 【オフィスアワー：授業相談】

木曜日16:15-17:45

### 【学生へのメッセージ】

### 【その他】